

祝百寿～健康の秘けつはクヨクヨしない～

7月5日（木）、西結の古澤ちえ子さんの100歳（7月8日生まれ）の誕生日会がグループホームまきで行われました。

堀町長らも訪れ、お祝い状と褒賞金、また、社会福祉協議会から花束をお届けしました。

古澤さんは甘い物が大好きで、健康の秘けつは「クヨクヨしないこと、ストレスを溜めないこと」といつも話されてみえるそうです。



▲古澤ちえ子さん
堀町長・社会福祉協議会長とも一緒に

食を通じた健康づくり

7月10日（火）、大垣市内において、西濃公衆衛生協議会総会が開催され、食生活改善への多大なる貢献があったとして、富田幸子さん（外善光在住）が、西濃公衆衛生協議会長表彰を受けられました。

富田さんは、安八町食生活改善推進員として、平成9年から保育園出前講座や親子料理教室での食育活動に尽力されています。平成29年からは会長を務め、食生活改善活動を牽引し、保健活動に貢献されています。

表彰を受けられて富田さんは、「今後も地域の皆さんの食と健康のために協力していきたいです。」と話されました。



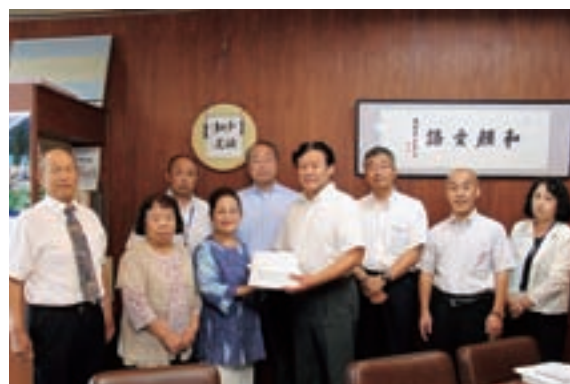
▲表彰を受けた富田幸子さん

真心のこもった雑巾で

7月10日（火）、安八町老人クラブ連合会女性部会（堀明美部会長）から町内の保育園、小学校、中学校へ手作りの雑巾460枚が寄贈されました。

これは同部会が「地域社会に感謝の気持ちを」という思いから、毎年この時期に行われています。

寄贈を受けた町小中学校校長会長の金森透校長（結小学校）は「真心のこもった雑巾をありがとうございます。おかげさまで子どもたちは雑巾がけが大好きで、一生懸命掃除した雑巾をうれしそうに見せてくれます。」とお礼の気持ちを伝えました。



▲手作りの雑巾をたくさんいただきました

生態系を守ろう！

7月14日（土）、東結の「入方ふれあい結」が小学生と一緒にジャンボタニシの駆除を行いました。

児童たちは、初めは食用として輸入されたジャンボタニシが野生化し異常発生した経緯や、イネの葉鞘を食べるため田んぼに深刻な被害を与えること、天敵がないため人の手で駆除しなければならないことなどを役員さんから教えてもらいました。

活動開始から10年、今までの努力の成果で周辺の田んぼにはジャンボタニシの数が少なく「去年より獲れない」との声が多く聞こえました。



▲親子で協力して